

世田谷区立桜丘中学校 3学年社会科 年間指導計画

『新しい社会 公民』（東京書籍）	年間授業時数	140（公民105）	学年	3学年	学級	A組～F組
------------------	--------	------------	----	-----	----	-------

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色、身近な消費生活、市場経済、勤労についての知識・技能を身に付け、活用することができる。 (例) 人権と日本国憲法・人権と共生社会・これからの人権保障・人権と日本国憲法・人権と共生社会・これからの人権保障 現代の民主政治・国の政治の仕組み・地方自治と私たち・国際社会の仕組み・様々な国際問題・これからの地球社会と日本 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義や、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ・これまでの学習を踏まえ、地理や歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 ・グラフなどの資料から必要な情報を読み取り、自分の言葉で説明することができる。
使用教科書・副教材など	教科書『新しい社会 公民』（東京書籍） 資料集『未来へつなぐ 公民資料集』（新学社）

2 学習指導計画及び評価方法等

学期	月	単元タイトル	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					重点知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	5	第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。

	6	2節 私たちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、文化の意義や影響、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
	7	5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解する。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
2	9	第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 				
9	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義、現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察させ、表現する。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義、役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
10 ～ 12	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方にについて理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義な 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方にについて理解している。 ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。

		<p>どに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 				
10 ～ 12	3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の基本的な考え方について理解する。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の基本的な考え方について理解する。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
7	5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解する。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の自力解決、グループワーク、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・粘り強くあきらめない態度をもち、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。

【1・2学期の評価について】

- ① 積み重ねテストによる「知識・技能」、「思考、判断、表現」の評価。
- ② 振り返りシートやレポート課題による「主体的に学習に取り組む態度」や「思考、判断、表現」の評価。

③ 提出物の状況・内容による「主体的に学習に取り組む態度」の評価。

④ 授業内での発表などの表現による「主体的に学習に取り組む態度」の評価。 ⑤ 授業内での小テストによる評価。

3	1	3年間の総まとめを行います（世界地理・日本地理・古代～現代の歴史、公民）。
	2	
	3	